

学校コード F127310108072

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

追手門学院大学 文学部 人文学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 追手門学院
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名

電話番号

（夜間）

e-mail

gakubusetchi@otemon.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 追手門学院

(2) 大学名

追手門学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒567-0013

大阪府茨木市太田東芝町1番1号

(〒567-8502)

(大阪府茨木市西安威2丁目1番15号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カワハラ トシアキ) 川原 俊明 (平成23年7月)		
学長	(シンドウ マサヒロ) 真銅 正宏 (令和2年4月)		
学部長	(ニシオ ノリアキ) 西尾 宣明 (令和4年4月)		
学科長等	—		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部や学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
文学部 人文学科 学士（文学）	文学関係	4 年	180 人	3年次 5 人	730 人	新規入学者を募集	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	1.08 倍	一倍		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	180				
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]				
志願者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4,280				-
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				(-)
受験者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4,185	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
合格者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	882	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
B 入学者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	195	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	[0]	(-)			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.08				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	195 [0] (-)	- [-] (-)	
2 年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3 年次			/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
4 年次	/						/		/		- [-] (-)
計			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)					- [-] (-)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	195 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数 (a)}}{\text{平成30年度の在学者数 (b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数 (a)}}{\text{令和元年度の在学者数 (b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数 (a)}}{\text{令和2年度の在学者数 (b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数 (a)}}{\text{令和3年度の在学者数 (b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数 (a)}}{\text{令和4年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{195} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<文学部 人文学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
初年次科目	教的处理入門	1前・後		2								兼1	
	日本語表現	1前		2								兼2	
	コンピュータ入門1	1前		1								兼1	
	コンピュータ入門2	1後		1								兼1	
	小計(4科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	0	兼4	
	外国言語科目	総合英語1	1前		2								兼8
		総合英語2	1後		2								兼8
		Advanced English1	2前		1								兼1
		Advanced English2	2後		1								兼1
		Academic English1	2・3前		1								兼1
		Academic English2	2・3後		1								兼1
		Online English Seminar1	1前	1									兼6
		Online English Seminar2	1後	1									兼6
		Online English Seminar3	2前		1								兼6
		Online English Seminar4	2後		1								兼6
		ドイツ語1	1前・後		1								兼2
		ドイツ語2	1前・後		1								兼2
		フランス語1	1前・後		1								兼2
		フランス語2	1前・後		1								兼2
		中国語1	1前・後		1								兼7
		中国語2	1前・後		1								兼7
		日本語読解中級1	1前		1								兼1
		日本語読解中級2	1後		1								兼1
		日本語聴解中級1	1前		1								兼2
		日本語聴解中級2	1後		1								兼2
		日本語読解上級1	2前		1								兼2
日本語読解上級2		2後		1								兼2	
日本語聴解上級1		2前		1								兼2	
日本語聴解上級2		2後		1								兼2	
小計(24科目)		—	6	20	0	0	0	0	0	0	0	兼26	
体育科目		スポーツ実習1	2前		1								兼7
	スポーツ実習2	2後		1								兼7	
	ネイチャーアクティビティ1	1休		1								兼1	
	ネイチャーアクティビティ2	1休		1								兼1	
	小計(4科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼8	
リベラルアーツ系科目	知の探究	1後		2								兼3	
	未来課題	2前・後		2								兼1	
	L&Sゼミ	2前・後		2								兼1	
	小計(3科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	0	兼4	
人文学系科目	哲学	1前・後		2								兼3	
	芸術学	1前・後		2								兼4	
	日本文学	1前・後		2								兼3	
	中国文学	1前・後		2								兼2	
	西洋文学	1前・後		2								兼4	
	言語学	1前・後		2								兼1	
	ことばと文化	1前・後		2								兼5	
	日本史	1前・後		2								兼2	
	アジア・オセアニア史	1前・後		2								兼4	
	西洋史	1前・後		2								兼2	
	人文地理学	1前・後		2								兼3	
	民俗学	1前・後		2								兼5	
	国際異文化理解1	2・3後		10								兼1	
	国際異文化理解2	3・4前		10								兼1	
小計(14科目)	—	0	44	0	0	0	0	0	0	0	兼32		
社会科学系科目	法学	1前・後		2								兼2	
	日本国憲法	1前・後		2								兼2	
	政治学	1前・後		2								兼4	
	国際関係論	1前・後		2								兼4	
	経済学	1前・後		2								兼5	
	経営学	1前・後		2								兼2	
	社会・経済思想	1前・後		2								兼1	
	社会学	1前・後		2								兼1	
	社会福祉学	1前・後		2								兼2	
	教育学	1前・後		2								兼4	
	スポーツ学	1前・後		2								兼4	
社会の心理	1前・後		2								兼3		
認知の科学	1前・後		2								兼4		
小計(13科目)	—	0	26	0	0	0	0	0	0	0	兼31		
自然科学系	ものの科学	1前・後		2								兼3	
	生命の科学	1前・後		2								兼1	
	情報の科学	1前・後		2								兼2	
小計(3科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	0	兼6		

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
初年次科目	教的处理入門	1前・後		2								兼1	
	日本語表現	1前		2								兼6	
	コンピュータ入門1	1前		1								兼1	
	コンピュータ入門2	1後		1								兼1	
	小計(4科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	0	兼8	
	外国言語科目	総合英語1	1前		2								兼11
		総合英語2	1後		2								兼11
		Advanced English1	2前		1								兼1
		Advanced English2	2後		1								兼1
		Academic English1	2・3前		1								兼1
		Academic English2	2・3後		1								兼1
		Online English Seminar1	1前	1									兼10
		Online English Seminar2	1後	1									兼10
		Online English Seminar3	2前		1								兼3
		Online English Seminar4	2後		1								兼3
		ドイツ語1	1前・後		1								兼3
		ドイツ語2	1前・後		1								兼3
		フランス語1	1前・後		1								兼4
		フランス語2	1前・後		1								兼4
		中国語1	1前・後		1								兼7
		中国語2	1前・後		1								兼7
		日本語読解中級1	1前		1								兼1
		日本語読解中級2	1後		1								兼2
		日本語聴解中級1	1前		1								兼2
		日本語聴解中級2	1後		1								兼2
		日本語読解上級1	2前		1								兼2
日本語読解上級2		2後		1								兼2	
日本語聴解上級1		2前		1								兼2	
日本語聴解上級2		2後		1								兼2	
小計(24科目)		—	6	20	0	0	0	0	0	0	0	兼31	
体育科目		スポーツ実習1	2前		1								兼7
	スポーツ実習2	2後		1								兼7	
	ネイチャーアクティビティ1	1休		1								兼1	
	ネイチャーアクティビティ2 (未開講)	1休		1								兼1	
	小計(4科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼9	
リベラルアーツ系科目	知の探究	1後		2				1				兼9	
	未来課題	2前・後		2								兼2	
	L&Sゼミ	2前・後		2								兼5	
	小計(3科目)	—	0	6	0	0	0	1	0	0	0	兼12	
人文学系科目	哲学	1前・後		2								兼3	
	芸術学	1前・後		2								兼5	
	日本文学	1前・後		2			1	1				兼3	
	中国文学	1前・後		2								兼2	
	西洋文学	1前・後		2				1				兼6	
	言語学	1前・後		2				1				兼2	
	ことばと文化	1前・後		2								兼5	
	日本史	1前・後		2			1	1				兼2	
	アジア・オセアニア史	1前・後		2								兼5	
	西洋史	1前・後		2								兼3	
	人文地理学	1前・後		2								兼3	
	民俗学	1前・後		2								兼4	
	国際異文化理解1	2・3後		10								兼1	
	国際異文化理解2	3・4前		10								兼1	
小計(14科目)	—	0	44	0	0	3	3	0	0	0	兼35		
社会科学系科目	法学	1前・後		2								兼6	
	日本国憲法	1前・後		2								兼3	
	政治学	1前・後		2								兼4	
	国際関係論	1前・後		2								兼3	
	経済学	1前・後		2								兼5	
	経営学	1前・後		2								兼2	
	社会・経済思想	1前・後		2								兼2	
	社会学	1前・後		2								兼4	
	社会福祉学	1前・後		2								兼2	
	教育学	1前・後		2								兼4	
	スポーツ学	1前・後		2								兼4	
社会の心理	1前・後		2								兼3		
認知の科学	1前・後		2								兼4		
小計(13科目)	—	0	26	0	0	0	0	0	0	0	兼42		
自然科学系	ものの科学	1前・後		2									

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	新入生演習	1前	2			8	4	3					
	日本学入門	1前	2			6	4	3					
	人文学演習	1後	2			7	4	3					
	日本文学概論1	1前	2				1						
	日本文学概論2	1後	2					1					
	古典基礎1	1前	2			1							
	古典基礎2	1後	2			1							
	日本語学概論1	1前	2				1						
	日本語学概論2	1後	2				1						
	日本史概論	1前	2			1							
	グローバル化と日本	1後	2			1							兼1
	文化人類学	1前	2										兼1
	日本文化論	1後	2			1							兼1
	美学概論	1後	2										兼1
	日本美術史概論	1前	2				1						兼1
	建築文化入門	1前	2			1							
	くずし字	1-2後	2			1							
	博物館入門	1-2後	2			1							
	人文学情報検索法	1-2前	2										兼1
小計(19科目)			6	32	0	8	4	3	0	0			兼3
専門基幹科目	日本文学1 (古典)	2前	2				1						
	日本文学2 (近現代)	2前	2					1					
	日本文学3 (超域)	2後	2					1					
	日本文学4 (漢文1)	2前	2										兼1
	日本文学5 (漢文2)	2後	2										兼1
	日本文学史1 (古典)	2後	2				1						
	日本文学史2 (近現代)	2後	2					1					
	日本語学1 (音声・音韻)	2前	2				1						
	日本語学2 (文法)	2後	2				1						
	日本語学2 (文法)	2前	2			1							
	日本語学2 (文法)	2後	2					1					
	日本語学2 (文法)	2前	2						1				
	日本語学2 (文法)	2後	2							1			
	日本語学2 (文法)	2前	2								1		
日本語学2 (文法)	2後	2									1		
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2後	2										兼1	
日本語学2 (文法)	2前	2										兼1</	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専攻科目群	地誌学1	2・3前	2			1							
	地誌学2	2・3後	2			1							
	日本文化特殊講義1	3・4前	2									兼1	
	日本文化特殊講義2	3・4後	2									兼1	
	日本文化フィールドワーク	3・4前	2					1					
	小計(40科目)	—	0	80	0	8	2	3	0	0	0	0	兼7
	日本語教育入門	2前	2										兼1
	日本語教授法	2後	2										兼1
	日本語教育演習	2後	2										兼1
	日本語教育実習	3前	1										兼1
書道1	2前	2										兼1	
書道2	2後	2										兼1	
国語科教育論1	2前	2										兼1	
国語科教育論2	2後	2										兼1	
国語科教育研究1	3前	2										兼1	
国語科教育研究2	3後	2										兼1	
電子出版	2後	2										兼1	
第二言語習得	2前	2										兼1	
言語と心理	2後	2										兼1	
博物館概論	1・2・3前	2										兼1	
博物館経営論	2・3・4後	2										兼1	
博物館資料論	2・3・4前	2										兼1	
博物館資料保存論	2・3・4後	2										兼1	
博物館展示論	2・3・4前	2										兼1	
博物館教育論	2・3・4後	2										兼1	
博物館情報・メディア論	2・3・4後	2										兼1	
コンピュータデザイン	2・3・4前	2			1								
博物館実習	3通	3										兼2	
製図基礎	1・2・3・4後	2			1								
建築文化論1	2・3・4後	2										兼1	
建築文化論2	3・4前	2										兼1	
建築文化論3	3・4前	2										兼1	
建築文化論4	3・4後	2										兼1	
西洋史概観1	2・3・4前	2										兼1	
西洋史概観2	2・3・4後	2										兼1	
東洋史概観1	2・3・4前	2										兼1	
東洋史概観2	2・3・4後	2										兼1	
人文地理学概観1	2・3・4前	2										兼1	
人文地理学概観2	2・3・4後	2										兼1	
自然地理学概観1	2・3・4前	2										兼1	
自然地理学概観2	2・3・4後	2										兼1	
法律学概論1	2・3・4前	2										兼1	
法律学概論2	2・3・4後	2										兼1	
社会学概論1	2・3・4前	2										兼1	
社会学概論2	2・3・4後	2										兼1	
倫理学概論1	2・3・4前	2										兼1	
倫理学概論2	2・3・4後	2										兼1	
社会科教育論1(地理歴史分野)	2・3・4前	2										兼1	
社会科教育論2(公民分野)	2・3・4前	2										兼1	
社会科・地理歴史科教育論	2・3・4後	2										兼1	
社会科・公民科教育論	2・3・4後	2										兼1	
社会教育概論1	1・2・3・4前	2										兼1	
社会教育概論2	1・2・3・4後	2										兼1	
小計(47科目)	—	0	94	0	2	0	0	0	0	0	0	兼25	
専門演習科目	文献講読	2前	2			8	4	3					
	専門演習1	2後	2			8	4	3					
	専門演習2	3前	2			8	4	3					
	専門演習3	3後	2			8	4	3					
	専門演習4	4前	2			8	4	3					
	専門演習5	4後	2			8	4	3					
小計(6科目)	—	12	0	0	8	4	3	0	0	0	0	兼0	
専攻科目研究	卒業研究	4通	6			8	4	3					
	小計(1科目)	—	6	0	0	8	4	3	0	0	0	0	兼0
合計(244科目)	—	30	451	0	8	4	3	0	0	0	0	兼129	
卒業要件及び履修方法													
必修科目30単位、基盤教育科目の選択科目から22単位以上、学科科目の選択科目から32単位以上を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:1年次前期18単位、1年次後期〜4年次後期22単位) なお、専門基礎科目の選択科目から12単位以上を選択必修とする。													

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専攻科目群	地誌学1	2・3前	2			1							
	地誌学2	2・3後	2			1							
	人文地理学概観1	2・3・4前	2										兼1
	人文地理学概観2	2・3・4後	2										兼1
	自然地理学概観1	2・3・4前	2										兼1
	自然地理学概観2	2・3・4後	2										兼1
	日本文化特殊講義1	3・4前	2										兼1
	日本文化特殊講義2	3・4後	2										兼1
	日本文化フィールドワーク	3・4前	2						1				
	小計(46科目)	—	0	92	0	8	3	3	0	0	0	0	兼10
学科科目	日本語教育入門	2前	2										兼1
	日本語教授法	2後	2										兼1
	日本語教育演習	2後	2										兼1
	日本語教育実習	3前	1										兼1
	国語科教育論1	2前	2										兼1
	国語科教育論2	2後	2										兼1
	国語科教育論3	3前	2										兼1
	国語科教育論4	3後	2										兼1
	電子出版	2後	2										兼1
	第二言語習得	2前	2										兼1
言語と心理	2後	2										兼1	
博物館概論	1・2・3前	2										兼1	
博物館経営論	2・3・4後	2										兼1	
博物館資料論	2・3・4前	2										兼1	
博物館資料保存論	2・3・4後	2										兼1	
博物館展示論	2・3・4前	2										兼1	
博物館教育論	2・3・4後	2										兼1	
博物館情報・メディア論	2・3・4後	2										兼1	
コンピュータデザイン	2・3・4前	2			1								
博物館実習	3通	3										兼2	
製図基礎	1・2・3・4後	2			1								
建築文化論1	2・3・4後	2										兼1	
建築文化論2	3・4前	2										兼1	
建築文化論3	3・4前	2										兼1	
建築文化論4	3・4後	2										兼1	
法律学概論1	2・3・4前	2										兼1	
法律学概論2	2・3・4後	2										兼1	
社会学概論1	2・3・4前	2										兼1	
社会学概論2	2・3・4後	2										兼1	
倫理学概論1	2・3・4前	2										兼1	
倫理学概論2	2・3・4後	2										兼1	
社会科教育論1(地理歴史分野)	2・3・4前	2										兼1	
社会科教育論2(公民分野)	2・3・4前	2										兼1	
社会科・地理歴史科教育論	2・3・4後	2										兼1	
社会科・公民科教育論	2・3・4後	2										兼1	
社会教育概論1	1・2・3・4前	2										兼1	
社会教育概論2	1・2・3・4後	2										兼1	
小計(37科目)	—	0	74	0	2	1	0	0	0	0	0	兼18	
専門演習科目	文献講読	2前	2			8	5	3					
	専門演習1	2後	2			8	5	3					
	専門演習2	3前	2			8	5	3					
	専門演習3	3後	2			8	5	3					
	専門演習4	4前	2			8	5	3					
	専門演習5	4後	2			8	5	3					
小計(6科目)	—	12	0	0	8	5	3	0	0	0	0	兼0	
専攻科目研究	卒業研究	4通	6			8	5	3					
	小計(1科目)	—	6	0	0	8	5	3	0	0	0	0	兼0
合計(244科目)	—	30	451	0	8	5	3	0	0	0	0	兼145	
卒業要件及び履修方法													
必修科目30単位、基盤教育科目の選択科目から22単位以上、学科科目の選択科目から32単位以上を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:前期22単位、後期22単位) なお、専門基本科目の選択科目から12単位以上を選択必修とする。													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・「日本語表現」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「日本語表現」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任6」に変更
- ・「総合英語1」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「総合英語1」の専任教員等の配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任11」に変更
- ・「総合英語2」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「総合英語2」の専任教員等の配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任11」に変更
- ・「Online English Seminar1」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「Online English Seminar1」の専任教員等の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任10」に変更
- ・「Online English Seminar2」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「Online English Seminar2」の専任教員等の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任10」に変更
- ・「Online English Seminar3」：クラス数の減少に伴い「Online English Seminar3」の専任教員等の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任3」に変更
- ・「Online English Seminar4」：クラス数の減少に伴い「Online English Seminar4」の専任教員等の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任3」に変更
- ・「ドイツ語1」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「ドイツ語1」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更
- ・「ドイツ語2」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「ドイツ語2」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更
- ・「フランス語1」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「フランス語1」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更
- ・「フランス語2」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「フランス語2」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更
- ・「日本語読解中級語2」：教員間の調整により「日本語読解中級語2」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・「ネイチャーアクティビティ2」：同科目は学外においてスポーツやキャンプ等を行う実習科目であるが、コロナ感染予防のため、「ネイチャーアクティビティ2」は未開講となった。
- ・「知の探究」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「知の探究」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「准教授1」「兼任・兼任9」に変更
- ・「未来課題」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「未来課題」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・「L&Sゼミ」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「L&Sゼミ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」に変更
- ・「芸術学」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「芸術学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更
- ・「日本文学」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「日本文学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「教授1」「准教授1」「兼任・兼任3」に変更
- ・「西洋文学」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「西洋文学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「准教授1」「兼任・兼任6」に変更
- ・「言語学」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「言語学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」「兼任・兼任2」に変更
- ・「日本史」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「日本史」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「教授1」「准教授1」「兼任・兼任2」に変更
- ・「アジア・オセアニア史」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「アジア・オセアニア史」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更
- ・「西洋史」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「西洋史」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更
- ・「民俗学」：教員間の調整により「民俗学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任4」に変更
- ・「法学」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「法学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任6」に変更
- ・「日本国憲法」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「日本国憲法」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更
- ・「国際関係論」：教員間の調整により「国際関係論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更
- ・「経営学」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「経営学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更
- ・「社会・経済思想」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「社会・経済思想」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・「社会学」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「社会学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任4」に変更
- ・「ものの科学」：教員間の調整により「ものの科学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更
- ・「自己との対話」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「自己との対話」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・「追手門アイデンティティ」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「追手門アイデンティティ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任5」に変更
- ・「ファンリテーション入門」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「ファンリテーション入門」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更
- ・「日本事情1」：教員間の調整により「日本事情1」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・「日本事情2」：教員間の調整により「日本事情2」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・学科科目の科目区分名を追加・変更。それに伴い小計欄を追加変更した。それに伴い、卒業要件及び履修方法の科目区分名称を修正
- ・「新入生演習」：専任教員の就任辞退及び兼任教員の所属学部が文学部へ異動したことにより「新入生演習」の専任教員等の配置を「教授8」「准教授4」「講師3」から「教授7」「准教授5」「講師3」に変更
- ・「日本学入門」：専任教員の就任辞退により「日本学入門」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授4」「講師3」から「教授4」「准教授4」「講師3」に変更
- ・「人文学演習」：兼任教員が所属学部を文学部へ異動したことにより「人文学演習」の専任教員等の配置を「教授7」「准教授4」「講師3」から「教授7」「准教授5」「講師3」に変更
- ・「西洋史概説1」「西洋史概説2」「東洋史概説1」「東洋史概説2」を教職課程認定申請の指摘に伴い「専門関連科目」から「専門基幹科目」の区分へ変更した。それに伴い、「兼任・兼任」教員をそれぞれ1名ずつ追加し、小計の値を変更した。
- ・「書道1」「書道2」「人文地理学概説1」「人文地理学概説2」「自然地理学概説1」「自然地理学概説2」を教職課程認定申請の指摘に伴い「専門関連科目」から「専門展開科目」の区分へ変更した。それに伴い、「兼任・兼任」教員をそれぞれ1名ずつ追加し、小計の値を変更した。
- ・「国語科教育研究1」「国語科教育研究2」を教職課程認定申請の指摘に伴い、「国語科教育論3」「国語科教育論4」に変更
- ・履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「製図基礎」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「准教授1」に変更
- ・「建築文化論3」：兼任教員の所属学部が文学部へ変更したことに伴い、「兼任・兼任1」から「准教授1」へ変更
- ・「西洋史概説1」「西洋史概説2」「東洋史概説1」「東洋史概説2」「書道1」「書道2」「人文地理学概説1」「人文地理学概説2」「自然地理学概説1」「自然地理学概説2」を教職課程認定申請の指摘に伴い「専門関連科目」から「専門基幹科目」もしくは「専門展開科目」の区分へ変更した。それに伴い、「兼任・兼任」教員をそれぞれ1名ずつ減じ、小計の値を変更した。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
14 科目	230 科目	0 科目	244 科目	14 科目 []	230 科目 []	0 科目 []	244 科目 []	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	ネイチャーアクティビティ2	1	1			新型コロナウイルスの影響により未開講。代替措置無し。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」…「ネイチャーアクティビティ2」の未開講については、コロナ禍による時限的な影響が大きいため、令和5年度以降に開講することに不安要素はない。

「学生への周知方法」…いずれの科目についても開講目処がたち次第、学生ポータルサイトを通じ翌年度（以降）に開講する旨を周知する。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{244} = \boxed{0.4} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	茨木総持寺キャンパスと 運動場用地のある茨木安 威キャンパスまでは 2km(スクールバスで約8 分) 茨木安威キャンパスにお いて学内再整備として校 舎敷地及び運動場用地の 見直しを行い、一部をそ 他に変更したため(4)		
	校 舎 敷 地	78,139 m ² 96,535 m²	0 m ²	0 m ²	78,139 m ² 96,535 m²			
	運 動 場 用 地	13,837 m ² 14,673 m²	14,955 m ²	0 m ²	28,792 m ² 29,628 m²			
	小 計	91,976 m ² 111,208 m²	14,955 m ²	0 m ²	106,931 m ² 126,163 m²			
	そ の 他	63,556 m ² 44,324 m²	0 m ²	0 m ²	63,556 m ² 44,324 m²			
	合 計	155,532 m ²	14,955 m ²	0 m ²	170,487 m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	老朽化のため茨木安威 キャンパスの温室を取り 壊したため(4)		
		112,573 m ² 112,584 m² (69,335 m ²) (-69,346 m²)	0 m ²	0 m ²	112,573 m ² 112,584 m² (69,335 m ²) (-69,346 m²)			
(3) 教 室 等		講 義 室 118 室 20 室	演 習 室 33 室 138 室	実験実習室 27 室 116 室	情報処理学習施設 7 室 (補助職員 5 人)	語学学習施設 1 室 3 室 (補助職員 5 人)	教室等の用途の見直しを 行ったため(4)	
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
		文学部 人文学科		16 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書 142,070冊 〔38,680冊〕 学術雑誌 1,372冊 〔473冊〕 電子ジャーナル 7,936冊 〔4,130冊〕 視聴覚資料 7,924冊 〔1,609,924冊〕 学術雑誌、紀要の除籍・廃棄 処理を行った。なお、紀要に ついては多くの研究機関で電 子書籍化され、該当大学図書 館 HP、リポジトリ等で閲覧 可となっていることから、本 学図書館に冊子体がなくても 支障が発生しない。(4)
	文学部	54,460 [4,930] (54,208 [5,148]) (-54,130 [-4,900])	220 [45] 542 [-40] 220 [45] 542 [-40]	13 [13] (13 [13])	1,017 995 (1,017) (-991)	19,372 10,852 (19,372) (-10,852)	0 (0)	
	計	54,460 [4,930] (54,208 [5,148]) (-54,130 [-4,900])	220 [45] 542 [-40] 220 [45] 542 [-40]	13 [13] (13 [13])	1,017 995 (1,017) (-991)	19,372 10,852 (19,372) (-10,852)	0 (0)	
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				図書館3F、4Fの用途を講 義・演習室から書庫に変 更したため(4)
		4,600 m ² 4,268 m²	636 席 647 席	514,824 冊				
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
		4,321 m ²	テニスコート アーチェリー場	トレーニングセンター 多目的練習場(学友会センター1F)				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	350千円	350千円	図書購入費	862千円 644千円	3,716千円 562千円	2,249千円
	共同研究費等	35,793千円 34,500千円	34,500千円	設備購入費	11,941千円 397千円	12,067千円 747千円	1,589千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
	1,195千円	1,195千円	1,195千円	1,195千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、受取利息・配当金収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	追手門学院大学						学生募集停止学科数	3	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
文学部	4	180	3年次 人 5	180	-	1.08	1.08	-	令和4	大阪府茨木市太田東芝町1番1号	
人文学科	4	180	3年次 5	180	学士(文学)	1.08	1.08	-	令和4		
国際学部	4	150	3年次 5	150	-	0.94	0.94	-	令和4	同上	
国際学科	4	150	3年次 5	150	学士(国際学)	0.94	0.94	-	令和4		
国際教養学部	4	-	-	1,010	-	-	-	-	平成19	同上	
国際教養学科	4	-	-	460	学士(国際教養学)	-	-	-	平成19		令和4年度より学生募集停止
国際日本学科	4	-	-	550	学士(国際教養学)	-	-	-	平成19		令和4年度より学生募集停止
心理学部	4	220	3年次 10	900	-	1.09	1.14	-	平成18	1年次：大阪府茨木市太田東芝町1番1号 2-4年次：大阪府茨木市西安威二丁目1番15号	
心理学科	4	220	3年次 10	900	学士(心理学)	1.09	1.14	-	平成18		
社会学部	4	350	3年次 7	1,294	-	1.03	1.02	-	平成18	同上	
社会学科	4	350	3年次 7	1,294	学士(社会学)	1.03	1.02	令和2	平成18		令和2年度入学定員増(120人)
経済学部	4	400	3年次 10	1,620	学士(経済学)	1.04	1.09	-	昭和41	同上	
経済学科	4	400	3年次 10	1,620	学士(経済学)	1.04	1.09	-	昭和41		
経営学部	4	443	3年次 7	1,786	-	1.04	1.05	-	平成7	同上	
経営学科	4	443	3年次 7	1,786	学士(経営学)	1.04	1.05	-	平成7		
マーケティング学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-	-	平成17	大阪府茨木市西安威二丁目1番15号	令和元年度より学生募集停止
地域創造学部	4	230	-	840	-	1.06	1.04	-	平成27	同上	
地域創造学科	4	230	-	840	学士(地域創造学)	1.06	1.04	令和2	平成27		大阪府茨木市太田東芝町1番1号
大学全体	-	1,973	44	7,780	-	1.05	1.05	-	-	-	

大学 の 名 称	追手門学院大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	1	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
博士前期課程											
経営・経済研究科	2	15	-	30	-	1.06	0.93	-	平成30		
経営・経済専攻	2	15	-	30	修士 (経営学) 修士 (大学経営) 修士 (経済学) 修士 (地域政策)	1.06	0.93	-	平成30	大阪府茨木市西安威二丁目1番15号	
心理学研究科	2	25	-	50	-	0.50	0.60	-	平成20		
心理学専攻	2	25	-	50	修士 (心理学)	0.50	0.60	-	平成20	同上	
修士課程											
現代社会文化研究科	2	10	-	20	-	0.85	0.90	-	昭和48		
現代社会学専攻	2	5	-	10	修士 (社会学) 修士 (地域創造学)	1.40	1.40	-	昭和50	同上	
国際教養学専攻	2	5	-	10	修士 (国際コミュニケーション学) 修士 (文学)	0.30	0.40	-	昭和59	同上	
大学院 博士前期課程・ 修士課程全体	-	50	-	100	-	0.74	0.76	-	-	-	
博士後期課程											
経営・経済研究科	3	3	-	9	-	0.22	0.33	-	平成30		
経営・経済専攻	3	3	-	9	博士 (経営学) 博士 (経済学) 博士 (地域政策)	0.22	0.33	-	平成30	大阪府茨木市西安威二丁目1番15号	
心理学研究科	3	3	-	9	-	0.11	0.00	-	平成29		
心理学専攻	3	3	-	9	博士 (心理学)	0.11	0.00	-	平成29	同上	
大学院 博士後期課程全体	-	6	-	18	-	0.16	0.16	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和3年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。 遵守事項	文学部人文学科の専任教員の年齢構成については、完成年度において定年を超えて専任教員として採用されている教員が15人中4人(26.7%)の計画であったが、うち1人が健康上の理由により未就任となった。なお、令和4年度に後任を補充するにあたり、年齢構成を配慮した採用を行っている。また、令和4年度に青島 啓太准教授を兼任教員から文学部人文学科の専任准教授に異動した。完成年度において定年を超えて専任教員として採用されている他の3人も70歳で任期を満了するので、その後任補充にあたっては年齢構成を考慮した計画的な採用を行っていく予定である。	履行中 左記のとおり、後任補充にあたっては年齢構成を考慮した計画的な採用を行っていく予定である。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<文学部 人文学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
/	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和4年度前期においては対面授業を中心としつつも、授業の特性に合わせてオンラインを活用しながら実施している。 令和4年度後期については、オンラインでの対応を行うか、通常どおり教室等での対面授業を実施するか、その時の情勢等によって判断する予定である。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ 文学部におけるFaculty Development（以下「FD」）活動を推進するため、FD推進委員会（以下「FD委員会」）を置く。文学部FD委員会を主導のもと、文学部FD会議等を開催し、FD活動の活発化や、教育の質向上に向けた組織的な研究及び研修活動に取り組んでいるが、全学的な基本的方針の策定にあたっては、教育支援センターを設置してこれを推進している。
- ・ 教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための組織的な取組であるスタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という。）を推進し、SDの取組方針及びその方策を企画検討するため、スタッフ・ディベロップメント委員会（以下「SD委員会」）を設置してこれを推進している。

添付資料1：文学部FD推進委員会規程
添付資料2：追手門学院大学教育支援センター規程
添付資料3：追手門学院スタッフ・ディベロップメント規程

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD委員会：5月以降、各学期2回（年間4回）程度で実施予定。
SD委員会：年1回程度の開催を見込んでおり、学長も構成員としている。

c 委員会の審議事項等

FD推進委員会：

- ・ 授業の内容及び方法の改善し、向上を図るための組織的な研究及び研修を推進。

SD委員会：

- ・ SD活動の企画、立案、実施及び評価・検証に関すること。
- ・ 複数の所属で実施されるSD及びFDとの連絡調整に関すること。
- ・ その他SDに関し委員長が必要と認めた事項に関すること。

② 実施状況

a 実施内容

FD研修：

- ・大学として、新任教員研修を実施した。また、教育支援センターと連携し、授業方法改善のための全体研修や、教員相互の授業参観や授業コンサルテーション等の個別研修の実施を予定している。
- ・実施内容はカリキュラム改善（教育目標の設定等）、授業改善（授業コンサルテーション等）、DX推進（LMSの授業での効果的な活用）のための支援、教員相互の能力向上を目的とした研修の企画と実施からなる。なお、授業コンサルテーションは授業改善を目的として、教育支援センター担当教員が教員及び学部からのニーズに応じてきめ細かな支援・助言を行う。

SD研修：

- ・全体研修を実施する予定である。なお、テーマとしては「パワーハラスメント防止に関すること」「情報セキュリティに関すること」を予定している。

b 実施方法

FD研修：

- ・テーマを決めて学部教員間で議論をし、教育改善の意識を高めるとともに教育改善に繋げる。
- ・教育支援センターによるシラバスの作成支援を実施する。
- ・授業担当教員と教育支援センター担当教員による共同での改善策を模索する授業コンサルテーションを実施する。
- ・教育支援センター担当教員による学部教員一人ひとりの特性把握の支援、個別ヒアリングおよび個別コンサルテーションを実施する。
- ・FDに関する講演会・セミナーを開催する。
- ・授業方法改善のための研修は全教員を対象に、教員相互の授業参観、授業コンサルテーション等の研修は新任教員を対象に、それぞれ実施する予定である。

SD研修：

- ・オンデマンド配信で実施予定。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD研修：今後、各学期2回（年間4回）程度で開催予定。

SD研修：年1回実施。令和3年度は教員の83%が視聴している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD研修及びSD研修：令和4年度は5月1日現在で未実施であるが、内容を通して得た知見やノウハウを授業改善に活用していく予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・有。1回目：5月16日～29日、2回目：7月4日～18日

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・LMS（WebClass）を通じて公開する。また、教員による講評もLMSを通じて記入される。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

文学部人文学科では、組織として研究対象とする中心的な学問分野を「文学分野」として、「日本文学・日本語・日本史・日本文化に関する学びを通して、高い理解力と思考力を身に付け、専門的知識を活用して思考・行動ができる」とともに、創造的に問題解決を図り、新しい文化や時代を創出することができる人材を養成することとし、「日本の歴史や文化及び日本語に対する広く深い知識や理解と見識に基づく豊かな表現力を習得する。また、文学作品や文献をもとに事実を科学的に考察するための技能を身に付け、物事を深く見通し、本質をとらえる能力を習得する」ことを教育目的としている。そして、このような文学分野における教育・研究を通じて「幅広い職業人養成」の機能重点的に担うことを明確な特色としている。学科科目は、「専門基礎科目群（学科共通科目・専門演習科目・専門研究科目・専門基本科目）」「専攻科目群（専門基幹科目・専門展開科目）」「専門関連科目群（専門関連科目）」に分類し、1～4年次に適切に配置し、体系的な学びを構築する。今年度（令和4年度）は設置初年度であり、1年次生には、4年間のこの学びの体系を意識させながら、学科科目としては「専門基礎科目群」を中心に教育を行っている。学生への学修への意識付けや学生生活の指導については、「新入生演習」を担当するアカデミックアドバイザーの教員が、毎週、それぞれのゼミナール運営に関して話し合う時間を設け、1年次生の学生への適切な対応を図っている。また、文学部人文学科の教育・研究のための図書・資料の図書館への配備や、機材・設備なども順次配備し、令和7年度の完成年度に向けて、初年次に行わなければならない取り組みが着実に遂行されている。

以上のことから、文学部人文学科の設置計画は達成できたものとする。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 令和4年8月1日 公表

b 公表方法

・ 自己点検・評価報告をまとめ、大学ホームページ上に公開予定（令和4年8月上旬を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・ 令和6年に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・]

c 公表方法 [・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

*設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。